

**平成18年度
広島大学歯学部歯学科 第2年次後期
学士編入学 学生募集要項
(抜粋版)**

平成18年10月本学歯学部歯学科に学士編入学（第2年次後期）
させる学生を次のとおり募集します。

I 趣旨

近年の医療の発展は目覚ましく、それを取り巻く環境もダイナミックに変化しています。なかでも口腔領域の疾病の多様化は極めて顕著で、歯科医療に対して、様々な領域の学問を包含する複合的な知識とヒトの英知を必要とする高度先進歯科医療の実践が強く求められるようになりました。このような社会状況下において、歯学部歯学科で実施されている従来型の歯科医師養成教育に加えて、これまで以上に社会科学、人文科学や自然科学分野で幅広い知識と教養を兼ね備えた歯科医師養成のための教育が強く望まれています。

これまでも、広島大学歯学部では学部教育を主体とした根本的な改組等を行うなど、社会的ニーズに応える努力を継続してきました。学士編入学制度もその一環であり、最先端歯科医学の教育と研究、先端歯科医療の指導と実践に対して強い情熱を持つ学士を対象として、広く入学の門戸を開くのが主たる趣旨です。幅広い視野に立脚した歯科医学・医療の発展に向け、恒常的努力を惜しまぬ人材を歓迎します。

II 募集人員及び試験場

学科	募集人員	編入学年次	出願書類受付場所及び試験場
歯学科	5名	第2年次後期	〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号 広島大学歯学部

III 出願資格

1. 大学の学部を卒業した者及び平成18年9月30日までに卒業見込みの者
ただし、歯学部を卒業した者及び平成18年9月30日までに卒業見込みの者を除きます。
2. 学校教育法第68条の2第3項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成18年9月30日までに授与される見込みの者

IV 出願手続

1. 出願期間

平成18年5月22日（月）から5月29日（月）17時まで（必着）

注1. 持参する場合は、午前9時から午後5時まで受け付けます。ただし、土曜日及び日曜日は、受け付けません。

注2. 郵送の場合は、出願書類等を一括して「書留」とし、封筒の表に「歯学部歯科学士編入学願書在中」と朱書してください。（出願期間内必着とします。）

2. 出願書類提出先

出願書類を取り揃えて、6ページに記載の出願／照会先へ提出してください。

3. 出願書類

出願書類	摘 要
①入学志願票等	交付の用紙（受験票・写真票を含む）を使用してください。
②成績証明書	<p>成績証明書は、出身大学（学部）長が作成し厳封したものを提出してください。大学院修了者（修了見込みの者）は、大学の成績証明書の他に、大学院の成績証明書（当該研究科長が作成し厳封したもの）を併せて提出してください。</p> <p>なお、卒業見込み及び修了見込みの者については、出願時での成績証明書を提出してください。</p> <p>また、出願資格2による出願者については、学位申請時に提出した成績証明書と同様のものを提出してください。</p>
③卒業証明書等	<p>卒業証明書（卒業見込み証明書）は、出身大学（学部）長が作成したものを提出してください。</p> <p>大学院修了者（修了見込みの者）は、大学の卒業証明書の他に、大学院の修了証明書（修了見込み証明書）（当該研究科長が作成したもの）を併せて提出してください。</p> <p>また、出願資格2による出願者については、学位授与証明書（学位授与申請受理証明書）を提出してください。</p>
④課題作文	<p>用紙：交付の用紙を使用して、出願者が自分で作成してください。</p> <p>課題：今日の社会情勢下で求められている歯科医療と、その実現のためにあなたの経験がどのように役立つか述べて下さい。</p> <p>字数：1,600字以上2,000字以内</p>
⑤検定料	<p>30,000円</p> <p>広島大学入学検定料振込依頼書（入金票）[本学専用用紙]により、入学志願票貼付用、志願者保管用、入学検定料振込依頼書（入金票）の太ワクの中に、志願者氏名及び志願者住所を必ず記入して、都市銀行、地方銀行等の本支店で振り込んでください。（郵便局では取扱いできませんので注意してください。）なお、振込手数料は振込人負担となります。</p> <p>また、「受付金融機関出納印」欄には、平成18年5月29日付け（願書受理期間の最終日）までの出納印のあるものに限り有効となりますので、都市銀行、地方銀行等の窓口での受付時間を確認の上振込を行ってください。</p> <p>（注）出願書類受理後は、いかなる理由があっても既納の入学検定料は、返還しません。</p>
⑥入学検定料振込用紙	入学志願票貼付用（入学検定料振込証明書）は、「入学検定料振込証明書貼付用紙」に貼付して提出してください。
⑦書類送付用定形封筒	<p>定形封筒（長形3号 縦23.5cm×横12cm）に、志願者の住所、氏名を記入し、80円分の切手を貼ってください。</p> <p>出願書類を持参する場合も、提出してください。</p>
⑧住所票	3枚とも記入してください。なお、シールになっていますので、はがれないように取り扱ってください。

4. 出願書類等に関する注意事項

- (1) 出願書類受理後の記載事項の変更は、認めません。
- (2) 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- (3) 受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (4) 受験に関する照会は、6 ページの出願/照会先あて連絡してください。

5. 身体等に障害のある者の相談

身体等に障害のある志願者で、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする者は、次の事項を記載した申請書（A4判用紙、様式・枚数随時）を提出し、相談してください。

ア 相談の時期は原則として、**平成18年5月19日（金）まで**とします。

イ 申請書の記載内容

- ① 志願者の氏名、住所、連絡先の電話番号
- ② 出身大学等名
- ③ 障害の種類・程度（現に治療中の者は、医師の診断書を添付）
- ④ 受験上及び修学上特別な措置を希望する事項
- ⑤ 出身大学等でとられていた措置
- ⑥ 日常生活の状況

V 選考方法

1. 第1次選考日時等

入学者の選考は、出願書類、課題作文、筆記試験「生物学」（大学一般教育程度）及び個別面接の成績により判定し、募集人員の約5倍までを第1次選考の合格者とします。

試験実施日	時間	科目等	試験場
6月19日（月）	9:00～10:00	筆記試験（生物学）	歯学部講義室
	10:30～17:00	個別面接	

2. 第2次選考日時等

第1次選考の合格者に対して、下記の日程で実施します。

試験実施日	時間	科目等	試験場
7月3日（月）	9:00～17:00	グループ面接	歯学部講義室

3. 実施科目等の内容

科目等	内容等	評価
筆記試験 (生物学)	生物学に関する基礎学力をみる問題を出題します。	点数化して評価
個別面接	志望の動機，勉学意欲，科学的思考力，歯科医学・歯科医療に対する基本的理解，歯科医師あるいは歯科医学の研究者・教育者に必要な，全人的なものの見方や倫理観などを総合的に評価します。	
グループ面接	約5名によるグループディスカッション方式で実施します。表現力，理解力，協調性，問題解決能力などを総合的に評価します。	

4. 合否判定基準

選考区分	合否を判定する基準
第1次選考	課題作文（100点），筆記試験（生物学）（100点），個別面接（150点）及び成績証明書（50点）の総合点で判定します。
第2次選考	第1次選考の合計点（400点）及びグループ面接（400点）の総合点（800点）で順位をつけます。同点の場合は，グループ面接の得点の高い順とし，さらに同点の場合は，個別面接の得点の高い順とします。

VI 健康診断（精密検査）

身体等に障害のある者の事前相談（3ページ「5. 身体等に障害のある者の相談」参照）の結果，精密検査が必要と認めた者には，第2次選考の際に本学において実施します。（精密検査該当者には，別途通知します。）

VII 合格者発表等

1. 第1次選考合格者発表

選考の結果は，平成18年6月23日（金）までに決定し，受験者には郵送で通知します。

なお，電話等による合否等の問い合わせには応じません。

2. 最終合格者発表

平成18年7月14日（金）12時（予定）

広島大学歯学部玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに，合格者には合格通知書を郵送します。

なお，電話等による合否等の問い合わせには応じません。

VIII 編入学入学届の提出

編入学試験の合格通知を受けた者は、所定の編入学届を平成18年7月21日（金）までに郵送してください。なお、期限までに編入学届を提出しない者は、辞退したものととして取り扱います。

IX 欠員補充

入学辞退により入学者が募集人員に満たない場合は、追加合格により欠員の補充を行います。

追加合格者への通知は、平成18年7月24日（月）から、入学志願票の「現住所」等へ電話により直接本人に連絡しますので、本学部からの連絡が確実に受けられるよう所在を明らかにしておいてください。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

X 入学手続及び納付金

入学手続期日等については、編入学入学届提出者に対してあらためて通知します。なお、入学時に必要な経費は次のとおりです。

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 入学料 | 282,000円 |
| 2. 授業料（半期分） | 267,900円 |
| （年間分） | 535,800円 |

①既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

②在学中に授業料の改定がおこなわれた場合には、改定後の授業料を納入することになります。

※ ただし、上記記載の金額は平成18年4月現在のものです。

納付金の額及び具体的な納付の方法等の詳細については、編入学入学届提出者に対して別途案内する予定です。

XI 編入学時期及び単位認定等

1. 編入学時期は平成18年10月1日とし、編入学年次は第2学年次後期です。
2. 編入学した者が入学前に修得した単位（既修得単位）は、授業内容を審査し、本学部の授業科目と同等科目と認めるものについて、本学部の卒業要件単位として認定します。

X II その他の注意事項

1. 提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合には、入学許可を取り消すことがあります。
また、入学手続完了後、大学の学部等を卒業しないなどの事由が生じた場合は、入学許可を取り消します。
2. 試験の前日〔第1次選考は平成18年6月18日（日）、第2次選考は7月2日（日）〕の午前10時までに歯学部玄関に「受験者心得等」を掲示しますので、必ず注意事項等をお確かめしておいてください。
なお、6月16日（金）から18日（日）及び6月30日（金）から7月2日（日）は試験場の建物内に入ることはできません。
3. 試験当日は、受験票を必ず持参してください。
4. 受験者の宿泊については、各自で手配してください。

出願/照会先 〒734-8553

広島市南区霞一丁目2番3号

広島大学歯学部学生支援室（入試担当）

TEL（082）257-5613

FAX（082）257-5278

E-mail : bimes-gaku@office.hiroshima-u.ac.jp

学生募集要項の郵送を希望する場合は、請求する封筒の表面に「歯学部歯学科学士編入学学生募集要項請求」と朱書のうえ、宛先・宛名を明記し、200円分の切手を貼った返信用封筒（角形2号 縦33.2cm×横24cm）を同封して請求してください。

<入学者選抜を通じて取得した個人情報の取扱いについて>

入学者選抜を通じて取得した個人情報（氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等）は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係（奨学金申請、授業料免除申請等）業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

歯学部の概要等

○歯学部教育理念・目標

理念

1. 高度な医療技術と学識，豊かな人間性を備えた歯科医療人の育成
2. 国際的に活躍できる歯科医学分野の教育者・研究者の養成
3. 地域医療と歯科医学分野への貢献

目標

1. 幅広い教養と豊かな人間性，協調性を備え，国際化・情報化に迅速かつ的確に対応できる能力を持った社会人を養成する。
2. 高度の医療技術と隣接医学を含む生命科学についての総合的知識を有する歯科医療人を養成する。
3. 将来，歯科医学の教育・研究分野において指導的立場に立ち，国際的にも活躍できる人材として大成するために必要な素養を培わせる。

○アドミッション・ポリシー（求める学生像）

歯学科では，次のような人を求めています。

- (1) 人体，特に口腔や顎・顔面に対して人一倍関心を持っている人
- (2) 医療を行う上で不可欠な，豊かな感性，人間性，協調性を持っている人
- (3) 生命科学や自然科学の基礎学力を備えている人
- (4) 独創的で柔軟な思考力を持ち，対話能力に優れ，探求心旺盛で強い学習意欲がある人
- (5) 将来は，歯科医学・医療の教育・研究者となり，あるいは地域歯科医療においてリーダーシップを発揮する臨床歯科医となることで，社会に貢献しようとする人

○入学後の教育

2年次後期に編入学後，直ちに霞キャンパスで専門教育が始まります。まず，歯科医学における基本から最先端までの知識，歯科医師としての基本的知識・技能・態度を，専門コアカリキュラムによって学びます。これに加えて5年次後期からはじまる臨床実習を履修することにより，歯科医師国家試験に合格するための知識と技術を修得できます。4年次から5年次には，卒業後の将来像を考慮に入れて最先端歯学研究コース，または臨床歯科医学コースのいずれかを選択し，それぞれのカリキュラムに従って学びます。どちらのコースを選択しても，所定の単位を修得して卒業すれば，歯科医師国家試験の受験資格が得られます。

なお，教養教育科目の単位は一括認定しますので，入学後に履修する必要はありません。

1. 専門コアカリキュラムと臨床実習

専門コアカリキュラムと臨床実習はコースの選択にかかわらず，すべての学生が履修

します。専門コアカリキュラムの歯学基礎科目や歯学基礎実習では、口腔解剖学、口腔生理学、口腔病理学等の基礎歯科医学を、さらに歯学臨床科目や歯学臨床基礎実習では保存修復学、口腔外科学、歯科矯正学等の臨床歯科医学の知識や技能を学びます。また、歯科医学に関係の深い内科学や外科学などの隣接医学科目も履修します。

5年次後期からは広島大学病院で臨床実習を行い、診断や治療などの歯科医療を見学あるいは実践することによって、専門コアカリキュラムで得た知識や技能を高めると共に、歯科医師としてのコミュニケーション能力や態度を身につけます。

以上の4年半の勉学で、歯科医師となるために必要な知識・技術・態度を修得し、卒業後は歯科医師国家試験に合格すれば歯科医師免許証を取得できます。

2. 最先端歯学研究コース

最先端歯学研究コースは、国際的に活躍する歯科医学の研究者及び教育者を育成するコースです。

共通コアカリキュラムで学んだ歯科医学の基本的事項をベースにして、少人数での演習と研究室配属の実習を組み合わせた最先端歯学研究カリキュラムを履修することにより、将来最先端歯科医療の開発研究に取り組むための知識や技能を学びます。このカリキュラムを修了した時点で、大学院レベルの研究を開始できる知識・技術の修得を目標にしています。

3. 臨床歯科医学コース

臨床歯科医学コースは、高度な知識・技術を持った臨床歯科医師の養成を目指すコースです。

共通コア科目の上に立脚した、演習と実習を主体とした臨床歯科医学カリキュラムを履修することにより、最先端の歯科医療に関する知識や技術を修得し、将来は地域医療社会で指導的役割を果たせる歯科医師を養成することを目標としています。

4. コースへの配属について

入学後の第3年次末に各コースへの配属を決定します。

なお、60名の定員に対し、最先端歯学研究コースへは概ね15名、臨床歯科医学コースへは概ね45名を配属する予定です。編入学生と6年制入学生は区別しません。

ホームページ <http://home.hiroshima-u.ac.jp/dent/index-j.html>